

佐藤翔輔助教，林助手（東京海上日動寄附研究部門），牧野嶋（D2）が第41回全国高等学校総合文化祭において講演しました（2017/8/3）

場所：石巻市南浜町，女川町まちなか交流館

参加者：佐藤翔輔助教，林助手（東京海上日動寄附研究部門），牧野嶋（D2）

2017年8月3日に，第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文祭）の一環として，宮城県石巻市および女川町にて，自然科学部門の地学フィールドワークが開催され，当研究室の佐藤翔輔助教，林助手，牧野嶋（D2）が，引率の教員を含めて約140名の高校生を対象に講演しました。

佐藤翔輔助教と牧野嶋は，佐藤翔輔助教のプロジェクトである，“日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業・実社会対応プログラム（公募型研究テーマ）「効果的・持続的な災害伝承を目的とした拠点構築手法のモデル化と実践的研究」”にて石巻の現地協力者としてお世話になっている，公益社団法人みらいサポート石巻様と協力し，震災時，特に津波被害が大きかった石巻の南浜町にて高校生を受け入れました。みらいサポート石巻様の震災伝承施設の見学や，被災後の南浜町を，当時を知る方と共に歩き，学習するプログラムに同行したほか，石巻ー女川のバス移動の車中で，津波工学研究室で取り組んでいる災害科学研究に関する講演を行いました。林助手は，女川町まちなか交流館にて，東日本大震災で発生した地震・津波被害の概要や，当研究室で実施されている実践的な防災研究の事例を紹介しました。

いずれの発表でも高校生から質問を頂くなど，講演内容に大変興味を持っていただくことができました。今回の企画にご尽力いただきました関係の皆さまに改めてお礼申し上げます。



佐藤翔輔助教 講演の様子



林助手 講演の様子



当研究室が提供したCG



みらいサポート石巻 東日本大震災メモリアル 南浜つなぐ館